

第 26 回住生活月間中央イベントについて

今年度開催する第 26 回住生活月間中央イベントは、「家族がうれしい！『省エネ住宅』最前線！－【健康】&【お得】な長く愛される住まい－」をテーマとして、広島県広島市において記念式典、展示等を開催します。また、全国への情報発信事業「住宅・すまい Web」について、ホームページ関連の充実を図り、全国に向けて住情報提供を推進します。

住生活月間中央イベントは、以下の事業にて構成します。

1. 合同記念式典

第 26 回住生活月間及び第 26 回住生活月間中央イベント「スーパーハウジングフェア in 広島」の合同記念式典を開催し、併せて住生活月間功労者や「家やまちの絵本」コンクール等入賞者の表彰を行います。

- (1) 日 時：平成 26 年 10 月 11 日（土）
- (2) 会 場：リーガロイヤルホテル広島（広島県広島市中区基町 6-78）
- (3) 主 催：住生活月間実行委員会、住生活月間中央イベント実行委員会
- (4) 後 援：国土交通省、(独)住宅金融支援機構、(独)都市再生機構、広島県、広島市

2. 第 26 回住生活月間中央イベント「スーパーハウジングフェア in 広島」

- (1) テーマ：「家族がうれしい！『省エネ住宅』最前線！
－【健康】&【お得】な長く愛される住まい－」
- (2) 日 時：平成 26 年 10 月 11 日（土）、12 日（日）
- (3) 会 場：広島県立広島産業会館 西展示館（広島県広島市南区比治山本町 16-31）
- (4) 主 催：住生活月間中央イベント実行委員会
- (5) 後 援：国土交通省、(独)住宅金融支援機構、(独)都市再生機構、広島県、広島市
- (6) 展示・イベントの概要：
中央イベントテーマ展示、「家やまちの絵本」コンクール入賞作品のパネル展示、各協賛団体によるパネル展示等
- (7) 同時開催：ひろしま住宅・建築フェスティバル 2014

3. HP「住宅・すまい Web」での全国への情報発信事業 (<http://www.jutaku-sumai.jp>)

平成 14 年度よりホームページを通じての全国への情報発信を行っておりますが、今年度も引き続き、住宅・すまいに関する価値の高い「住情報」の発信を行います。

「立体シンポジウム」では、注目されている各テーマについて、専門プロデューサーが多角的に語ります。

また、「住生活月間中央イベント」関連情報及び住まい全般に関する情報についても更新・掲載します。

(1) 立体シンポジウム

○テーマ

「人口減少・高齢社会とすまい・まち」

プロデューサー：園田 眞理子 氏（明治大学理工学部教授）

人口減少・超高齢社会への対応について、住宅・不動産関連企業等に向けた最新情報の提供等

「まちなみとすまい」

プロデューサー：浅見 泰司 氏(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授)
まちなみとすまい実例・イメージで探す (イメージ・建築部位・外構部位・街並み部位・見えないもの・手法)、都市の迷路性の評価マップ、街の中の施設勢圏等

「環境とすまい・まち」

プロデューサー：岩村 和夫 氏 (東京都市大学都市生活学部教授)
自然災害や日常災害を踏まえた持続可能性への配慮がなされた、安全保障住宅の考え方について紹介等

「ライフスタイルとすまい・まち」

プロデューサー：松村 秀一 氏 (東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授)
講演+インタビューシリーズ「ライフスタイルを見る視点」
(若者の田舎暮らしの動向、暮らし方の冒険家等)

「教育とすまい・まち」

プロデューサー：小澤 紀美子 氏 (東京学芸大学教育学部名誉教授)
教える立場の人が、カリキュラム計画に際して柔軟な対応ができる情報の提供 (住まい・住環境・環境関係の学習モデル・プロセス等)

「住宅政策」

プロデューサー：小田 広昭 氏 (一般社団法人住宅生産団体連合会専務理事)
住宅税制・予算措置に関する提言、消費者に対する制度改正などの情報発信、国の住宅政策に関する情報発信等

(2) その他の情報発信

- ・第26回住生活月間中央イベント催事紹介
- ・全国の地方公共団体が実施する催事紹介「日本全国住生活月間の旅」
- ・過去の住生活月間中央イベントアルバム

4. 全国住宅展示場等での住情報発信事業

全国の住宅展示場などの参加を得て、消費者の方々に住生活月間を認知していただくための住宅関係情報の提供を行う「住生活月間中央イベントキャンペーン」を実施します。

- ・実施場所：住宅展示場・工務店・住宅会社等
- ・全国共通のアーチフラッグの掲示、チラシの配布等

5. コンクール

第10回家やまちの絵本コンクール

家やまちに関心のある子どもや、子どもたちと大人の合作などを対象に募集、審査・表彰を行う。

- (1) 募集部門 A：子どもの部 (小学生以下)
B：中学生・高校生の部
C：大人の部 (18歳以上)
D：合作の部 (製作者が複数の場合)
- (2) 表彰 国土交通大臣賞、文部科学大臣奨励賞、住宅金融支援機構理事長賞、都市再生機構理事長賞、住生活月間中央イベント実行委員会委員長賞

以上